



Cisco Secure Firewall 200 シリーズ ハードウェア設置ガイド

最終更新：2026年4月30日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスココンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2026 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

概要 1

機能 1

パッケージの内容 4

ケンジントンロック、コンプライアンスラベル、積み重ね禁止ラベル、システム高温警告ラベル、およびデジタルドキュメントポータル QR コードの場所 5

前面パネル 7

管理ポート、コンソールポート、および USB ポート 7

電源ボタンとリセットボタン 8

背面パネル 10

背面パネル LED 11

ハードウェア仕様 13

サポート対象のトランシーバ 14

製品 ID 番号 16

電源コードの仕様 17

第 2 章

設置の準備 23

設置に関する警告 23

シャーシの配置 25

安全に関する推奨事項 26

電気製品を扱う場合の注意 27

静電破壊の防止 27

設置場所の環境 28

設置場所に関する考慮事項 28

電源モジュールに関する考慮事項 28

ラックの構成に関する考慮事項 29

第 3 章

シャーシの取り付け 31

シャーシの開梱と確認 31

シャーシのデスクトップマウント 32

シャーシの壁面取り付け (1 RU) 32

シャーシのラックマウント (1 RU) 35



第 1 章

概要

- 機能 (1 ページ)
- パッケージの内容 (4 ページ)
- ケンジントンロック、コンプライアンスラベル、積み重ね禁止ラベル、システム高温警告ラベル、およびデジタル ドキュメント ポータル QR コードの場所 (5 ページ)
- 前面パネル (7 ページ)
- 管理ポート、コンソールポート、および USB ポート (7 ページ)
- 電源ボタンとリセットボタン (8 ページ)
- 背面パネル (10 ページ)
- 背面パネル LED (11 ページ)
- ハードウェア仕様 (13 ページ)
- サポート対象のトランシーバ (14 ページ)
- 製品 ID 番号 (16 ページ)
- 電源コードの仕様 (17 ページ)

機能

シスコの低価格帯ファイアウォールファミリーに加わった Cisco Secure Firewall 200 シリーズは、コストパフォーマンスと効率性に優れた製品です。企業の支社、小売店、および小規模なロケーション向けに設計されており、高度な脅威インテリジェンス、クラウドセキュリティ機能、および最適化されたパフォーマンスによるエンタープライズグレードの包括的保護により、堅牢なセキュリティを低コストで実現します。

Cisco Secure Firewall 220 は、Cisco Secure Firewall ファミリのコンパクト ネットワーク セキュリティアプライアンスです。Cisco Secure Firewall Threat Defense バージョン 10.0 と Cisco Secure ASA バージョン 9.24.1 でサポートされる初の製品です。

サポート対象の各 Firewall バージョンについては、『[Cisco Secure Firewall Threat Defense 互換性ガイド](#)』と『[Cisco Secure Firewall ASA の互換性](#)』を参照してください。OS とホスティング環境の要件を含む、Cisco Firewall ソフトウェアおよびハードウェアの互換性をご確認いただけます。

Firewall 220 に関連付けられている製品 ID (PID) の一覧については、「[製品 ID 番号 \(16 ページ\)](#)」を参照してください。

次の図は、Secure Firewall 220 を示しています。

図 1: CSF-220



次の表に、Secure Firewall 220 の機能を示します。

表 1: CSF-220 の機能

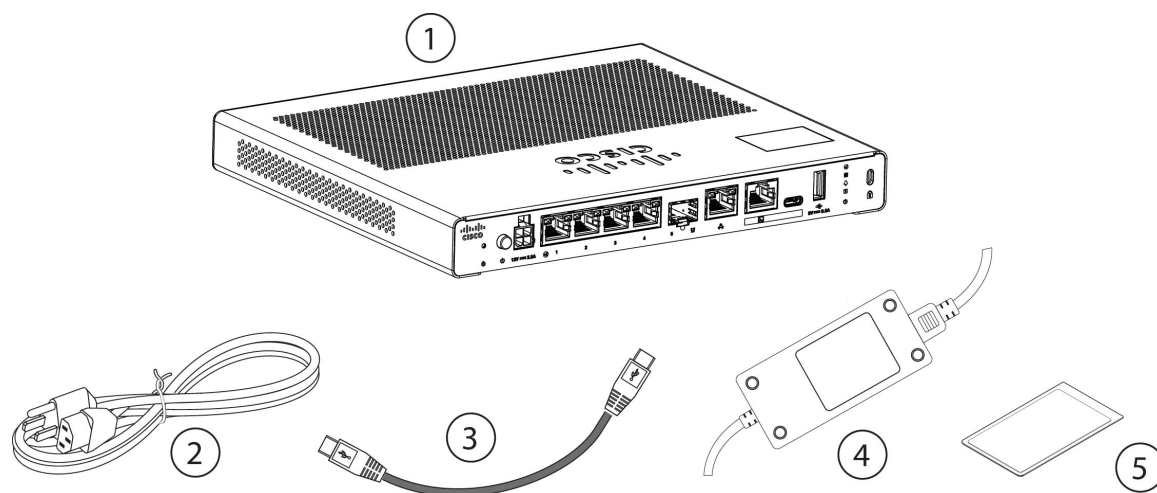
機能	CSF-220
フォーム ファクタ	コンパクト、またはラックマウントシェルフの場合は 1 RU
取り付け	<ul style="list-style-type: none"> • デスクトップマウント (デフォルト) • 壁面取り付け (発注可能キット) • ラックマウントシェルフ (発注可能キット)
エアフロー	ファンなし (注) ファンがないため、シャーシを積み重ねることはできません。内部システムの温度の記録は、「 ハードウェア仕様 (13 ページ) 」に記載されている環境温度よりも高くなることが予想されます。
管理ポート	1-Gbps シスコ RJ-45 X 1 ネットワーク管理アクセスに制限されており、RJ-45 ケーブルで接続します。
コンソール ポート	シスコシリアル (RJ-45 上の RS-232) X 1 USB タイプ C 2.0 X 1 外部システム経由の管理アクセスを提供します。

機能	CSF-220
USB ポート	USB タイプ A 3.0 X 1 ストレージなどの外部デバイスを接続します
ネットワーク ポート	1-Gbps RJ-45 ギガビットイーサネット ポート X 4
Small Form-Factor Pluggable (SFP) ポート	1-Gbps ポート X 1
サポートされる SFP	サポートされている 1-Gbps SFP のリストについては、「 サポート対象のトランシーバ (14 ページ) 」を参照してください。
Power over Ethernet (PoE) および PoE+ ポート	サポート対象外
リセットボタン	小さな埋め込み型ボタン ピンで5秒以上押し続けると、次のリブート後にシャーシがデフォルト状態にリセットされます。 (注) 設定の変数は工場出荷時のデフォルトにリセットされますが、フラッシュは消去されず、ファイルは削除されません。
ロック スロット	ケンジントン T バーロックメカニズムに対応し、シャーシのセキュリティを保護
電源ボタン	I/O (背面) パネルの左側に位置
電源コード ソケット	IEC320-C14 対応する電源コードのリストについては、 電源コードの仕様 (17 ページ) を参照してください。
AC 電源装置	外部 +12 V (30 W)
ストレージ	内部コンポーネントのみ (現場交換不可)。 ストレージを交換するには、シャーシをシスコに返送する必要があります。詳細については、「 Cisco Returns Portal 」を参照してください。
ゴム製の脚	安定性と冷却のために存在

パッケージの内容

次の図は、Secure Firewall 220 のパッケージの内容を示しています。内容は変更されることがあり、実際の内容には品目の追加や削減の可能性があることにご注意ください。

図 2: CSF-220 パッケージの内容



1	シャーシ (1 RU)	2	電源コード 承認されている電源コードのリストについては、 電源コードの仕様 (17 ページ) を参照してください。
3	USB-C - USB-C コンソールケーブル (6 フィート) PID : CAB-CONS-USB-C オプション : 発注した場合にパッケージに同梱	4	電源

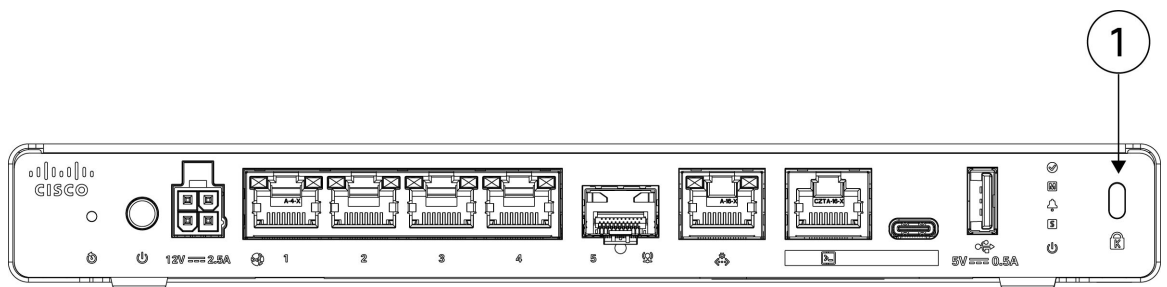
5	<p><i>Cisco Secure Firewall 200</i></p> <p>このドキュメントには、ハードウェア設置ガイド、法規制と安全に関する情報ガイド、および保証とライセンスの情報へのリンクがあります。また、デジタルドキュメントポータルを指す QR コードと URL も含まれています。このポータルには、製品情報ページ、ハードウェア設置ガイド、法規制と安全に関する情報ガイド、スタートアップガイド、およびゼロタッチプロビジョニングガイドへのリンクが含まれています。</p>	—
----------	--	---

ケンジントンロック、コンプライアンスラベル、積み重ね禁止ラベル、システム高温警告ラベル、およびデジタルドキュメントポータル QR コードの場所

シャーシには、標準的なケンジントンTバーロックメカニズムに対応するケンジントンロックがあり、シャーシのセキュリティを保護します。

次の図は、CSF-220 のケンジントンロックの位置を示しています。

図 3: CSF-220 シャーシのケンジントンロック



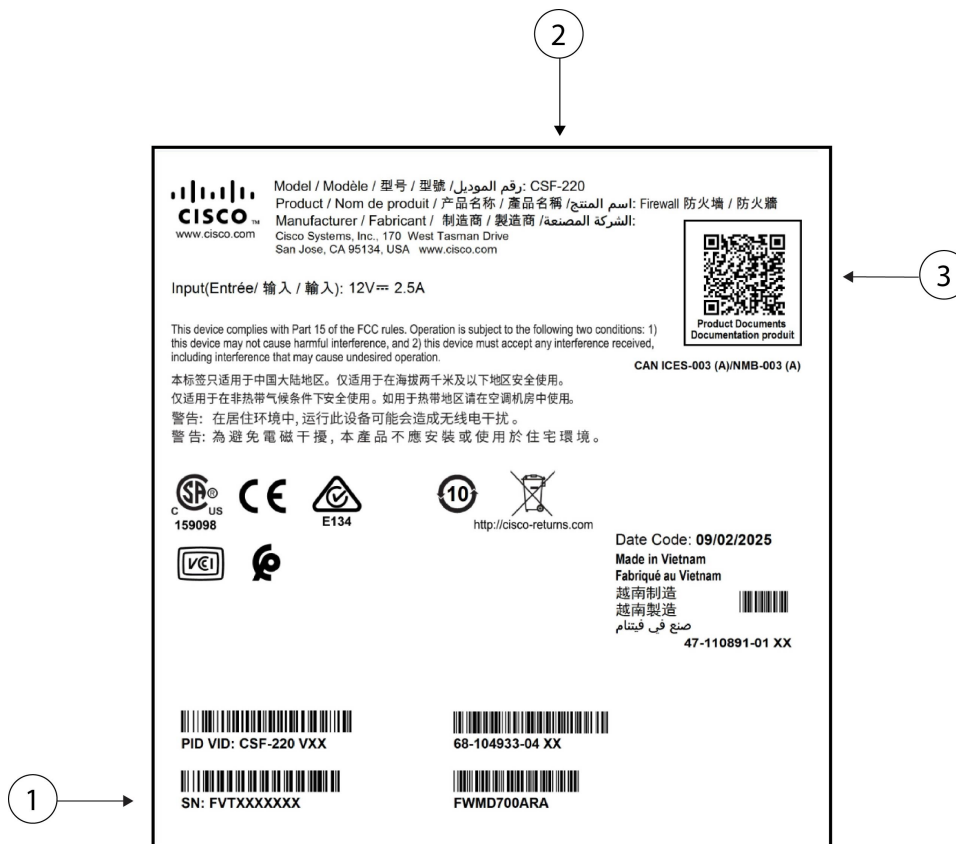
1	<p>シャーシの背面パネル (I/O) 側の右上にあるケンジントンロック</p>	—
----------	--	---

シャーシの下部にあるコンプライアンスラベルには、シャーシのシリアル番号、適合規格マーク、およびデジタルドキュメンテーションポータルの QR コードが記載されています。この QR コードで、スタートアップガイド、法規制および遵守に関するガイド、ゼロタッチプロビジョニングガイド、ハードウェア設置ガイドにアクセスできます。

次の図は、CSF-220 シャーシの底面にあるコンプライアンスラベルの例を示しています。

ケンジントンロック、コンプライアンスラベル、積み重ね禁止ラベル、システム高温警告ラベル、およびデジタルドキュメントポータル QR コードの場所

図 4: CSF-220 シャーシのコンプライアンスラベル



1	シャーシのシリアル番号	2	シャーシのモデル番号
3	デジタルドキュメンテーションポータル の QR コード		—

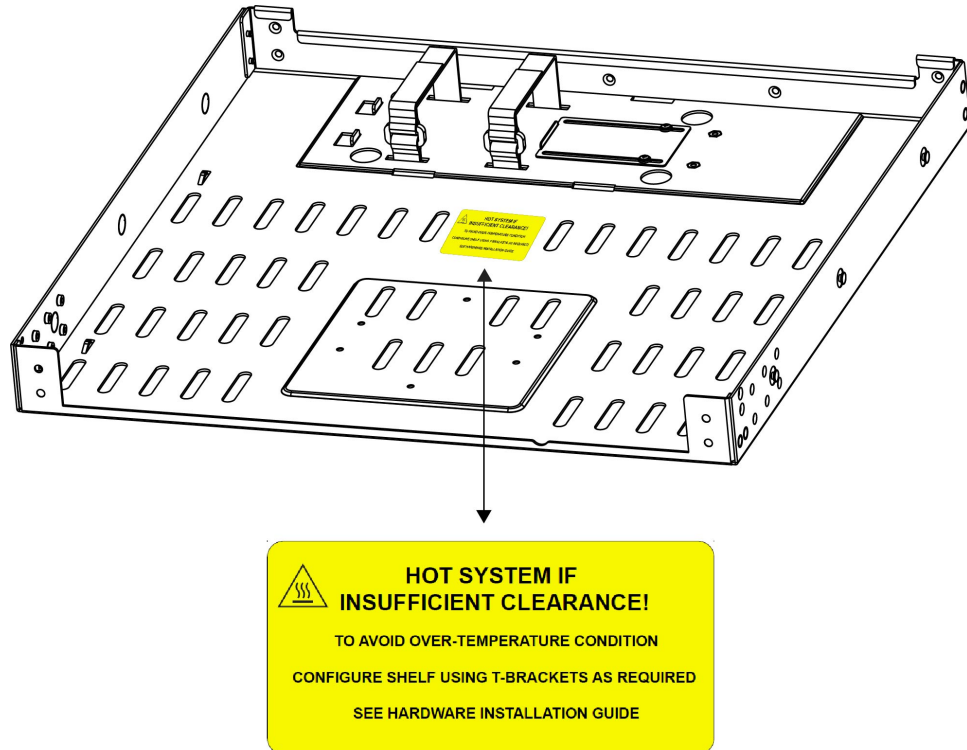
積み重ね禁止ラベルはシャーシカバーの上部にあります。次の図は積み重ね禁止ラベルを示しています。

図 5: シャーシの積み重ね禁止ラベル



次の図に示すように、ラックマウントトレイにはシステム高温警告ラベルがあります。

図 6: ラックマウントトレイのシステム高温警告ラベル



前面パネル

次の図は、Secure Firewall 220 コンパクトアプライアンスの前面パネルを示しています。前面パネルには、コネクタやLEDはありません。

図 7: CSF-220 前面パネル



管理ポート、コンソールポート、および USB ポート

管理ポート

Cisco Secure Firewall 220 シリーズのシャーシには、1 個の 1-Gbps Cisco RJ-45 管理ポートがあります。これはネットワーク管理アクセスに制限されており、RJ-45 ケーブルで接続します。

RJ-45 コンソールポート

Cisco Secure Firewall 220 には、Cisco RJ-45 シリアルポートとタイプ C USB シリアルポートの、2 個の外部コンソールポートがあります。同時にアクティブにできるのは 1 個のコンソールポートだけです。ケーブルを USB コンソールポートに接続すると、RJ-45 ポートは非アクティブになります。反対に、USB ケーブルを USB ポートから外すと、RJ-45 ポートはアクティブになります。コンソールポートにはハードウェアフロー制御がありません。ターミナルサーバを使用してシリアルコンソールポートから、またはコンピュータの端末エミュレーションプログラムから、CLI を使用してシャーンを設定できます。

- RJ-45 (8P8C) ポートは、内部 UART コントローラにシグナリングする RS-232 をサポートします。RJ-45 コンソールポートはリモートダイヤルインモデムをサポートしていません。必要に応じて、アダプタを使用して RJ45-DB9 接続に変換できます。
- タイプ C USB ポートを使用して、外部コンピュータの USB ポートに接続できます。Windows HyperTerminal の動作に影響を与えることなく、コンソールポートでの USB ケーブルの抜き差しが可能です。適切に終端シールドが施された、シールド付き USB ケーブルが推奨されます。デフォルト設定は 9600 ボーです。これを使用して最初の接続を行います。USB コンソールポートのボーレートは、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200 bps です。

タイプ A USB 3.0 ポート

Cisco Secure Firewall 220 には、外部デバイスの接続に使用できる USB 3.0 タイプ A ポートが用意されています。この USB ポートは、5 V、最大 0.5 A、2.5 W の出力電力を供給できます。

- 外部 USB ドライブ（オプション）：USB タイプ A の外部ポートを使用して、データストレージデバイスに接続できます。外部 USB ドライブ識別子は `disk1` です。シャーンに電源が投入されると、接続された USB ドライブは `disk1` としてマウントされ、ユーザが使用可能な状態になります。さらに、`disk 0` に使用できるファイルシステムコマンドは `disk1` でも使用可能です。これらのコマンドには、**copy**、**format**、**delete**、**mkdir**、**pwd**、**cd** があります。
- FAT-32 ファイルシステム：外部 USB ドライブについて、Cisco Secure Firewall 220 は FAT-32 でフォーマットされたファイルシステムのみをサポートします。FAT-32 形式ではない外部 USB ドライブを挿入すると、システムのマウントプロセスが失敗し、エラーメッセージが表示されます。**format disk1**: コマンドを入力して該当のパーティションを FAT 32 にフォーマットし、再度 `disk1` にマウントできます。ただし、データが失われる可能性があります。

電源ボタンとリセットボタン

電源ボタン

背面パネルの左側にプッシュ式の電源ボタンがあります。これによってシステムへの電源を制御します。最初に交流電源を投入した場合、システムはデフォルトでオンになるため、電源ボタンを押す必要はありません。ボタンが突き出している場合、システムは OFF

であり、ボタンを押し込むと ON になります。シャットダウンプロセス中は電源 LED が緑色に点滅し、プロセスが開始したことを示します。シャットダウンが完了すると、システムの電源がオフになります。システムの電源 LED が消灯するのを待ってから、AC 電源ケーブルを取り外します。電源ステータス LED の詳細な説明については、「[背面パネル LED \(11 ページ\)](#)」を参照してください。

ROMMON または FX-OS プロンプトで、次の手順を実行します。

- 電源ボタンを5秒間押してから離すと、電源サイクルが開始します。電源 LED が 2 Hz のレートで緑色に点滅します。
- 電源ボタンを15秒間押してから離すと、グレースフルシャットダウンが開始します。電源 LED が 10 Hz のレートで緑色に点滅します。



- (注) 脅威防御にはグレースフルシャットダウンが必要です。手順については、『[スタートアップガイド](#)』を参照してください。



- 注意** 正常なシャットダウンが完了する前にシステムの電源コードを取り外すと、ディスクが破損する可能性があります。シャットダウンする前に電源スイッチを OFF にすることができます。システムはそれを無視します。



- (注) 電源コードを取り外してシャーシへの電力供給を遮断した後は、少なくとも 10 秒間待機してから電源を再投入してください。待機電力を含め、システムの電源を 10 秒間オフしておく必要があります。

工場出荷時設定へのリセットボタン

シャーシには、システムを工場出荷時のデフォルト状態にリセットする埋め込み型のリセットボタンがあります。ピンで 5 秒間押し続けると、次のリブート後にシャーシがデフォルトの状態にリセットされます。



- (注) 現在のログイン情報が失われ、コンソールにアクセスせずにボックスを初期化したい場合に、リセットボタンを使用します。



- (注) 設定の変数は工場出荷時のデフォルトにリセットされますが、フラッシュは消去されず、ファイルは削除されません。

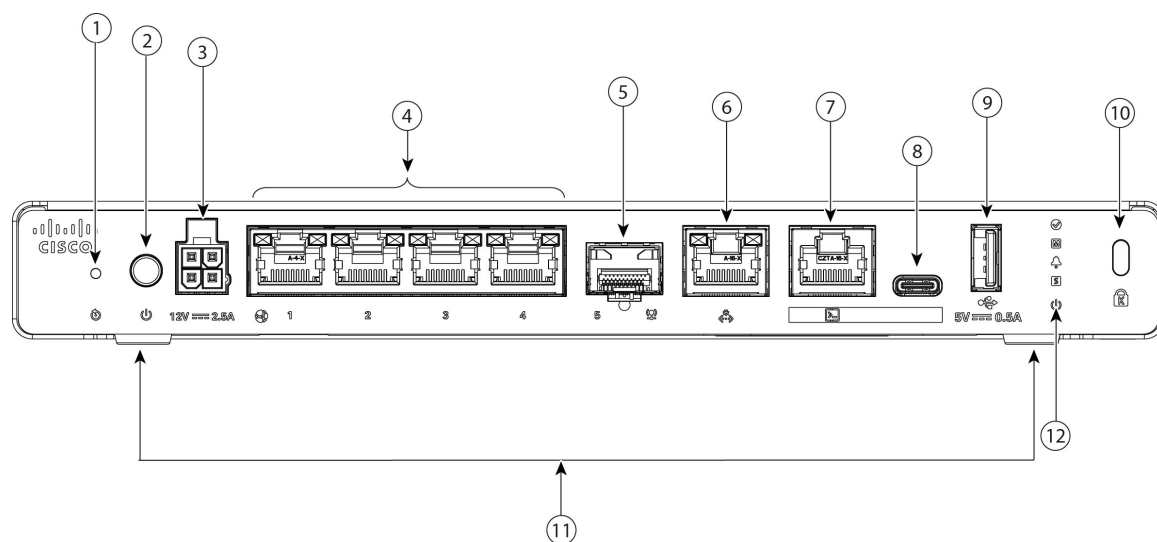


- (注) リセットボタンを押してからリセットプロセスが完了するまでの間に電源が切れた場合、プロセスは停止し、システムの電源を入れ直した後もう一度ボタンを押す必要があります。

背面パネル

次の図は、Secure Firewall 220 の背面パネルを示しています。LED の説明については、[背面パネル LED \(11 ページ\)](#) を参照してください。

図 8: CSF-220 背面パネル



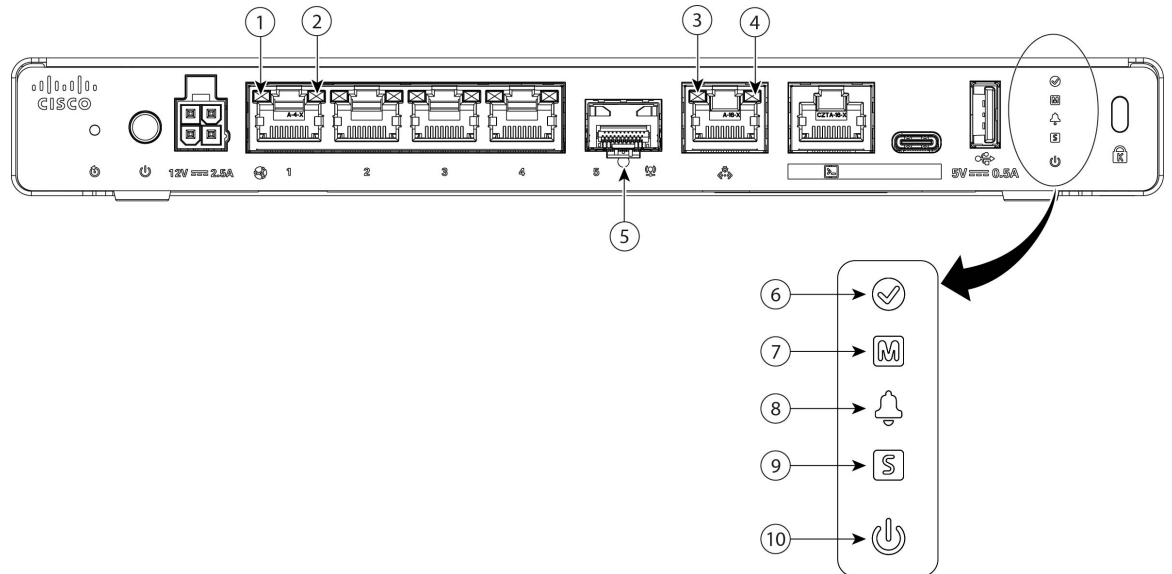
1	リセット ボタン	2	電源ボタン 電源ボタンには2つの位置があります。突き出しているときは OFF 状態で、押し込むと ON 状態になります。
3	電源コード ソケット	4	イーサネットポート 1～4 1G/100M/10M 自動デュプレックス自動 MDI-X Base-T インターフェイス
5	SFP ポート (1 Gbps)	6	管理ポート
7	コンソールポート RJ-45	8	シリアルコンソール USB タイプ C ポート
9	USB タイプ A ポート	10	ケンジントン ロック
11	ゴム製の脚	12	ステータス LED

背面パネル LED

LED は Cisco Secure Firewall 220 の背面パネルにあります。

次の図は Secure Firewall 220 の背面パネルの LED を示しており、後続の表はそれぞれの状態を説明しています。

図 9: CSF-220 背面パネルの LED



<p>1 ネットワーク</p> <p>ネットワークポートのステータス :</p> <p>リンク ステータス (L)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 : リンクが存在しないか、ポートが使用されていない。 • 緑色 : リンクが確立。 • 緑色の点滅 : リンクアクティビティ。 	<p>2 ネットワーク</p> <p>ネットワークポートのステータス :</p> <p>アクティビティステータス (R) :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 : ネットワークアクティビティなし。 • 緑色 : ネットワークアクティビティあり。
---	--

<p>3 管理</p> <p>管理ポートのステータス :</p> <p>リンク ステータス (L)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 : リンクが存在しないか、ポートが使用されていない。 • 緑色 : リンクが確立。 • 緑色の点滅 : リンクアクティビティ。 	<p>4 管理</p> <p>管理ポートのステータス :</p> <p>アクティビティステータス (R) :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色の点滅 : 3 秒ごとに 1 回点滅 = 10 Mbps。 • 緑色の点滅 : 2 回の高速点滅 = 100 Mbps。 • 緑色の点滅 : 3 回の高速点滅 = 1000 Mbps。
<p>5 SFP</p> <p>SFP ポートのステータス :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 : SFP が存在しない。 • 黄色 : SFP は存在するが、リンクが確立されていない。 • 緑色の点滅 : リンクが確立され、送信が行われている。 	<p>6 アクティブ</p> <p>フェールオーバー ペアの状態 :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 : ユニットがスタンバイモード。 • 緑色 : ユニットがアクティブモード。
<p>7 Managed</p> <p>ゼロタッチプロビジョニングのクラウド接続ステータス :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑でゆっくり点滅 (5 秒で 2 回) : クラウドに接続されています。 • 緑と黄色で点滅 : クラウド接続障害。 • 緑 : クラウド接続が解除されています。 	<p>8 アラーム</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 : アラームがありません。 • 黄色 : 環境エラー。

<p>9 システム (System)</p> <p>システムの動作状態</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：システムがまだ起動していない。 • 緑ですばやく点滅：システムが起動中です。 • 緑色：システムが正常に機能している。 • 黄色：次のうち1つ以上を示すクリティカルアラーム。 <ul style="list-style-type: none"> • ハードウェアまたはソフトウェアコンポーネントの重大な障害 • 過熱状態 • 許容範囲外の電圧 	<p>10 電源</p> <p>電源装置のステータス：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：電源がオフになっている。 • 緑色：電源がオンになっている。 • 緑色で点滅：システムがグレースフルシャットダウン中。 • 黄色：システム電源が稼働中でIO-MCUが更新中（最大3分）、または電源の故障が発生。
--	--

ハードウェア仕様

次の表には、Secure Firewall 220 のハードウェア仕様が含まれています。

表 2: CSF-220 ハードウェア仕様

仕様	CSF-220
シャーシの寸法（高さ × 幅 × 奥行）	1.15 X 9.2 X 7.8 インチ (2.9 X 23.4 X 19.8 cm)
シャーシの重量	1.18 kg (2.6 ポンド)
ラックマウントシェルフの寸法（高さ × 幅 × 奥行）	1.7 × 17.3 × 15.7 インチ (4.3 X 43.9 X 39.9 cm)
システム電源	最大出力 19 W

仕様	CSF-220
温度	動作：0～40°C（32～104°F） 海拔 304.8 m（1,000 フィート）ごとに最大動作温度は 1.5°C（2.7°F）低下し、上限は 3,048 m（10,000 フィート） 非動作時：-25～70 °C（-13～158 °F） 非動作時：最高高度は 4,570 m（15,000 フィート）
湿度	動作時：5～85%（結露しないこと） 非動作時：5～95%（結露しないこと）
高度	動作時：0～3,048 m（10,000 フィート） 非動作時：0～4570 m（15,000 フィート）

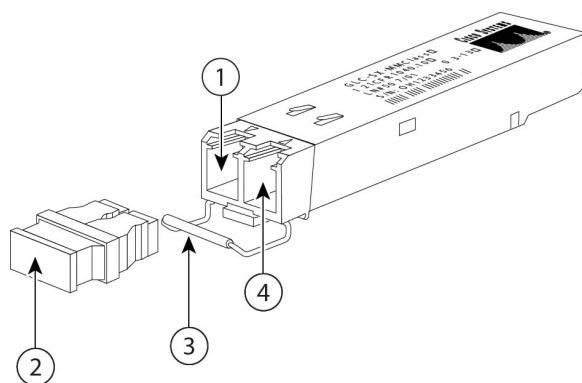
サポート対象のトランシーバ

SFP/SFP+ トランシーバは、同じ物理パッケージ内にトランスミッタとレシーバを備えた双方向デバイスです。このデバイスは、固定ポートの SFP ポートにプラグインするホットスワップ対応の光または電気（銅線）インターフェイスであり、イーサネット接続を提供します。

詳細については、『[Cisco SFP Modules for Gigabit Ethernet Applications Data Sheet](#)』を参照してください。

次の図は、トランシーバのコンポーネントを示しています。

図 10: SFP トランシーバ ()



1	受信光ボア	2	ダストプラグ
3	ベイル クラスプ	4	送信光ボア

安全警告

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント 1055 - クラス I およびクラス 1M レーザーまたはその一方

目に見えないレーザー放射があります。望遠鏡を使用しているユーザに光を当てないでください。これは、クラス 1/1M のレーザー製品に適用されます。



警告 ステートメント 1056 - 未終端の光ファイバケーブル

未終端の光ファイバの末端またはコネクタから、目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。光学機器で直接見ないでください。ある種の光学機器（ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など）を使用し、100 mm 以内の距離でレーザー出力を見ると、目を傷めるおそれがあります。



警告 ステートメント 1057 - 危険性のある放射

このマニュアルで指定されている管理、調整、または実行手順以外の操作を行った場合、危険な放射線に被曝する可能性があります。



警告 トランシーバを取り付ける際には、適切な ESD 手順に従ってください。背面の端子には触れないようにしてください。また、端子とポートは、ほこりや汚れが付いていない状態に維持する必要があります。未使用のトランシーバは、出荷時の ESD パッケージに保管してください。



注意 シスコ以外の SFP は使用できますが、シスコではテストや検証が行われていないため、使用することは推奨されていません。Cisco TAC は、テストされていないサードパーティ製の SFP トランシーバを使用したことに起因する相互運用性の問題についてはサポートを拒否することがあります。

次の表に、Secure Firewall 220 固定ポートでサポートされる SFP を示します。

表 3: CSF-220 固定ポート

ポートタイプ	トランシーバの PID	最初のサポート対象リリース
固定 SFP ポート	<ul style="list-style-type: none"> • GLC-TE= • GLC-SX-MMD= • GLC-LH-SMD= • GLC-EX-SMD= • GLC-GE-100FX= • GLC-FE-100FX-RGD= 	Threat Defense 10.0/Cisco ASA 9.24

製品 ID 番号

次の表に、Cisco Secure Firewall 220 コンパクトアプライアンスに関連付けられている現場交換可能な PID のリストを示します。スペアコンポーネントは、アプライアンスとは別に注文できるコンポーネントです。内部コンポーネントに障害が発生した場合は、シャーシ全体の返品許可 (RMA) を得る必要があります。詳細については、[Cisco Returns Portal](#) を参照してください。



- (注) Cisco Secure Firewall 220 の PID のリストを表示するには、『[Cisco Secure Firewall Threat Defense コマンドリファレンス](#)』または『[Cisco Secure Firewall ASA シリーズ コマンドリファレンス](#)』の **show inventory** コマンドを参照してください。

表 4: CSF-220 の PID

PID	説明
CSF220-ASA-K9	Cisco Secure Firewall 220 コンパクトデスクトップアプライアンス、Cisco ASA
CSF220-TD-K9	Cisco Secure Firewall 220 コンパクトデスクトップアプライアンス、NGFW
CSF220-PWR-AC	Cisco Secure Firewall 220 30 W 交流 (12 V) 電源装置
CSF220-PWR-AC=	Cisco Secure Firewall 220 30 W 交流 (12 V) 電源装置 (スペア)
CSF200-WALL-MNT=	Cisco Secure Firewall 200 シリーズ壁面取り付けキット (スペア)

PID	説明
CSF200-RCKMNT-FX=	Cisco Secure Firewall 200 シリーズ固定ブラケット付きラックマウントキット (スペア)
CSF200-RCKMNT-SR=	Cisco Secure Firewall 200 シリーズ スライドレール付きラックマウントキット (スペア)
CSF200-CBL-MGMT=	Cisco Secure Firewall 200 シリーズ ケーブル管理ブラケットキット (スペア)

電源コードの仕様

セキュリティアプライアンスとの接続には、標準の電源コードまたはジャンパ電源コードを使用できます。ラック用のジャンパ電源コードは、必要に応じて標準の電源コードの代わりに使用できます。

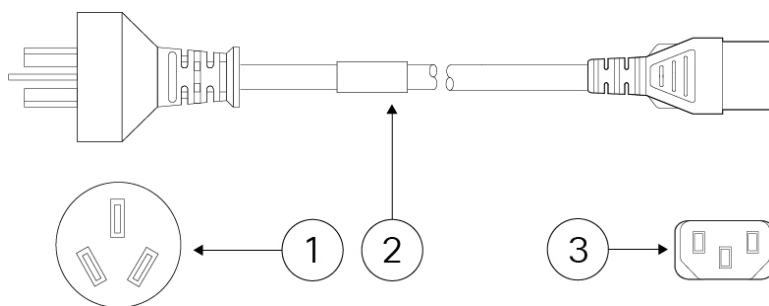
システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザーの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気的安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。



- (注) 使用できるのは、シャーシに付属している認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードだけです。

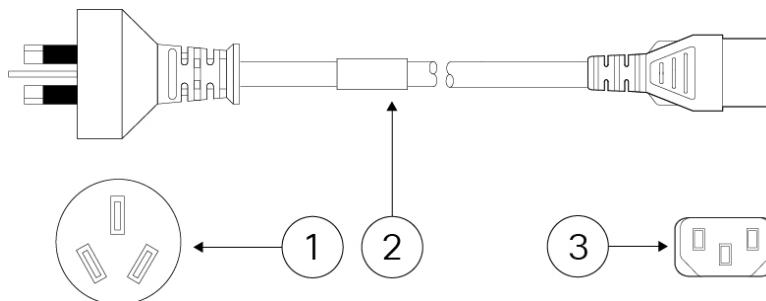
次の電源コードがサポートされています。

図 11: アルゼンチン (CAB-250V-10A-AR)



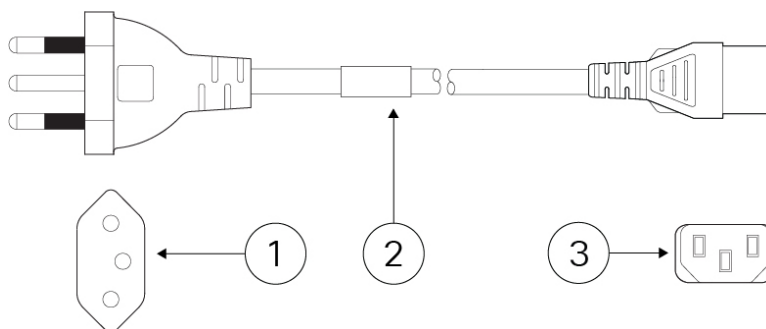
1	プラグ : VA2073	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 12: オーストラリア/ニュージーランド (CAB-ACA)



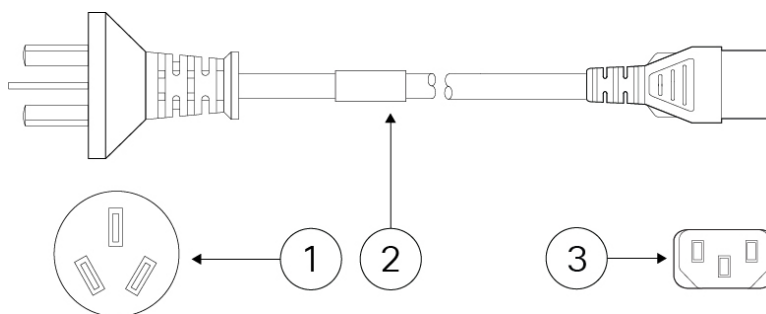
1	プラグ : AU10LS3	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 13: ブラジル (CAB-C13-ACB)



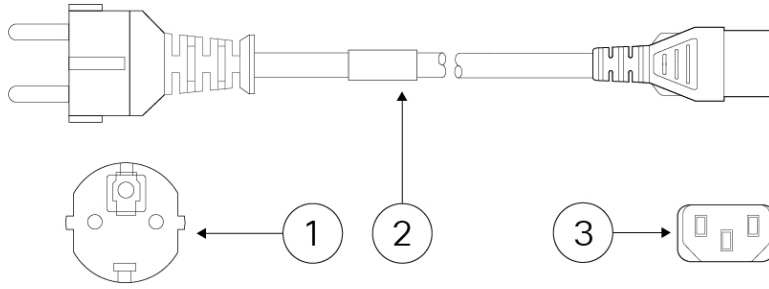
1	プラグ : NBR 14136	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : EL 701B (EN 60320/C13)		—

図 14: 中国 (CAB-ACC)



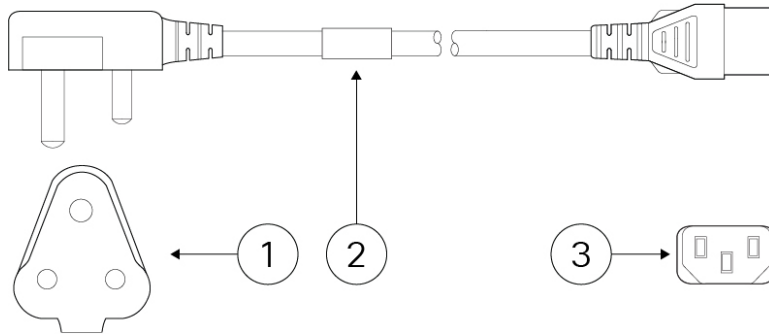
1	プラグ : V3203C	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 15: 欧州 (CAB-ACE)



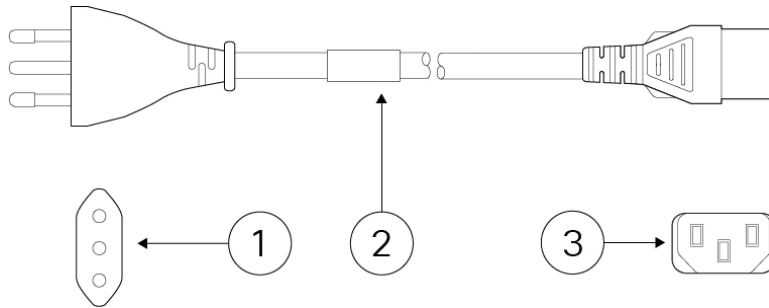
1	プラグ : M2511	2	コードセット定格 : 16 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 16: インド (CAB-IND-10A)



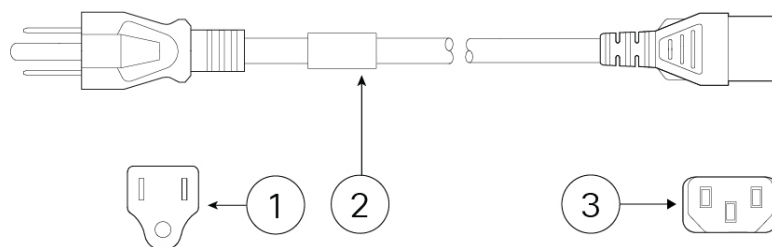
1	プラグ : IA16A3-C	2	コードセット定格 : 16 A、250 V
3	コネクタ : V1625BS-E		—

図 17: イタリア (CAB-ACI)



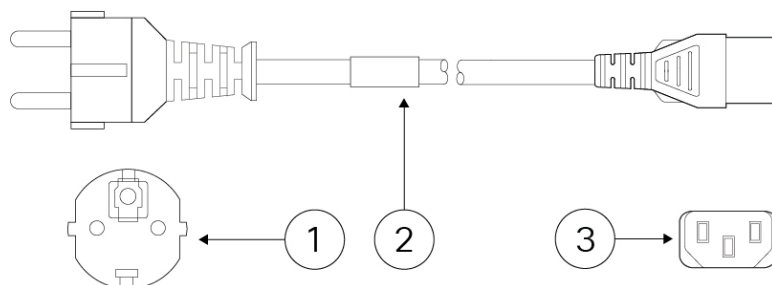
1	プラグ : IT10S3	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 18: 日本 (CAB-JPN-3PIN)



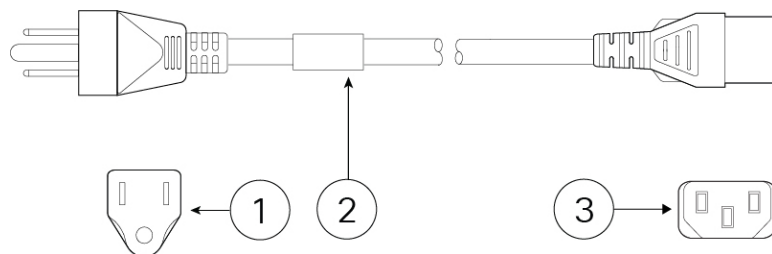
1	プラグ : M744	2	コードセット定格 : 12 A、125 V
3	コネクタ : V1625		—

図 19: 韓国 (CAB-AC-C13-KOR)



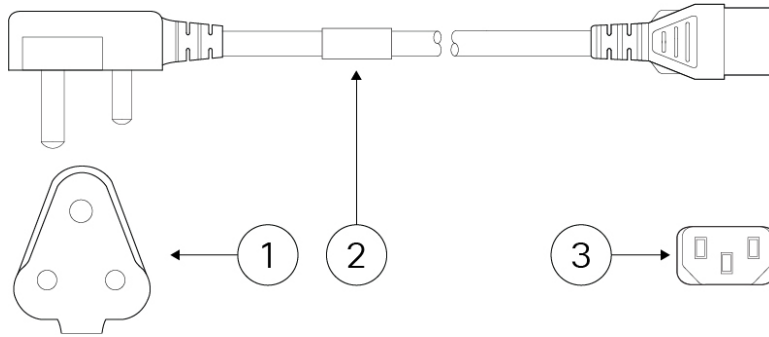
1	プラグ : M2511	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 20: 北米 (CAB-AC)



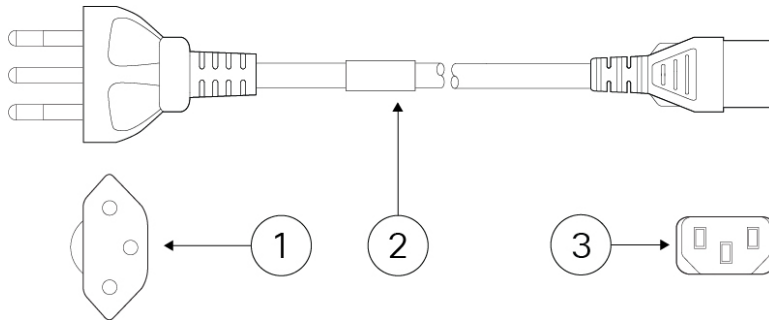
1	プラグ : PS204	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 21:南アフリカ (AIR-PWR-CORD-SA)



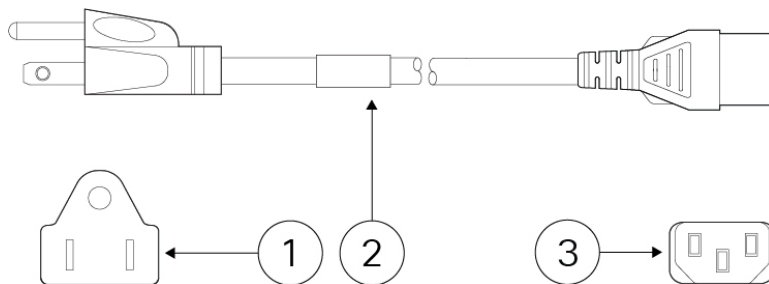
1	プラグ : SA16A	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 22:スイス (CAB-ACS)



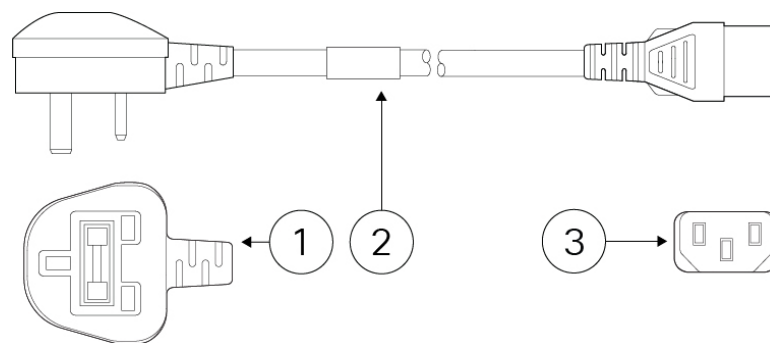
1	プラグ : SW10ZS3	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : V1625		—

図 23:台湾 (CAB-ACTW)



1	プラグ : EL 302 (CNS10917)	2	コードセット定格 : 10 A、125 V
3	コネクタ : EL 701 (EN 60320/C13)		—

図 24: 英国 (CAB-ACU)



1	プラグ : 3P BS 1363	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—



第 2 章

設置の準備

- 設置に関する警告 (23 ページ)
- シャーシの配置 (25 ページ)
- 安全に関する推奨事項 (26 ページ)
- 電気製品を扱う場合の注意 (27 ページ)
- 静電破壊の防止 (27 ページ)
- 設置場所の環境 (28 ページ)
- 設置場所に関する考慮事項 (28 ページ)
- 電源モジュールに関する考慮事項 (28 ページ)
- ラックの構成に関する考慮事項 (29 ページ)

設置に関する警告

シャーシを設置する前に、必ず『[Regulatory Compliance and Safety Information](#)』のドキュメントをお読みください。



注意 CSF-220 コンパクト ネットワーク セキュリティアプライアンスは屋内専用です。

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント 1071 - 警告の定義

安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の冒頭に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告 ステートメント 1005—遮断器

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。この保護装置の定格が 20 A、120 V、16 A、250 V 以下であることを確認します。



警告 ステートメント 1008 - クラス 1 レーザー製品

クラス 1 レーザー製品です。



警告 ステートメント 1015 - バッテリーの取り扱い

火災、爆発、または可燃性液体やガス漏れのリスクを軽減するために。

- 交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。
 - 分解、粉砕、破壊、鋭利な道具を使った取り外し、外部接点のショート、火中への廃棄は行わないでください。
 - バッテリーがゆがんだり、膨らんだりしているときは使用しないでください。
 - 60 °C を超える温度でバッテリーを保管または使用しないでください。
 - 69.7 kPa よりも低い低気圧環境でバッテリーを保管または使用しないでください。
-

**警告** ステートメント 1017 - 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。

**警告** ステートメント 1024 - アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

**警告** ステートメント 1029 - ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉 (EMI) の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。

**警告** ステートメント 1074 - 地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

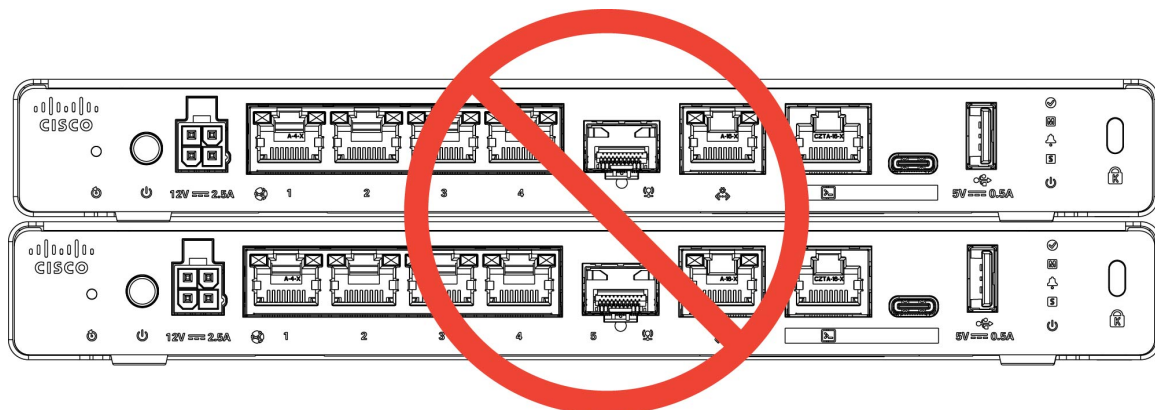
**警告** ステートメント 9001 - 製品の廃棄

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。

シャーシの配置

シャーシのデスクトップマウントの詳細については、「[シャーシのデスクトップマウント \(32 ページ\)](#)」を参照してください。

図 25: シャーシを積み重ねないでください



注意 シャーシの上に別のシャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。

シャーシの配置方法としてデスクトップやクローゼットシェルフ、壁面など選択する際には、以下を考慮する必要があります。

- 必ずシャーシが邪魔にならない場所を選び、ぶつかったり、誤ってずれたりしないようにしてください。シャーシには、設置場所に密着しないようにするために底部に「脚」があり、隙間や周囲から適切な空気循環ができるようになっています。シャーシを密接した状態で囲ったり、他の物と密集させて配置したりしないでください。適切な空気循環が妨げられる可能性があります。
- 電源コード、イーサネットケーブル、およびコンソールケーブルを容易にシャーシまで配線でき、十分なたるみと巻き込みを確保できる場所を選択して、不用意に抜けたりしないようにしてください。

安全に関する推奨事項

これらの安全に関する注意事項を遵守してください。

- 設置作業中および作業後は、設置場所を整理し、埃のない状態に保ってください。
- 工具は、通行の邪魔にならない場所に置いてください。
- ゆったりとした衣服やイヤリング、ブレスレット、ネックレスなどの装飾品は身につけず、シャーシに引っかかることがないようにしてください。
- 目が危険にさらされる状況で作業する場合は、保護眼鏡を着用してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 重量が1人で扱える範囲を超えているものを、単独で持ち上げないでください。

電気製品を扱う場合の注意



警告 シャーシの作業を行う前に、必ず電源コードを抜いてください。

シャーシを設置する前に、必ず『[Regulatory Compliance and Safety Information](#)』 [英語] のドキュメントをお読みください。

電気機器を取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- シャーシ内部の作業を開始する前に、作業を行う部屋の緊急電源遮断スイッチの場所を確認しておいてください。電気事故が発生した場合は、ただちにその部屋の電気を切ってください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 電源が切断されていると思わずに、必ず確認してください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コード、すり減った電源コード、保護アースの不備などがないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。
- 電気事故が発生した場合は、次のように対処してください。
 - 負傷しないように注意してください。
 - システムの電源を切断してください。
 - 可能であれば、だれかに頼んで救護を呼んでもらいます。それができない場合は、負傷者の状況を見極めてから救援を要請してください。
 - 負傷者に人工呼吸または心臓マッサージが必要かどうかを判断し、適切な処置を施してください。
- シャーシは、指定された定格電力の範囲内で、製品の使用説明書に従って使用してください。
- シャーシに搭載されている AC 入力電源装置には 3 線式の電気コードが付属しており、そのアース端子付きのプラグはアース端子付きの電源コンセントにしか差し込めないようになっています。これは大変重要な安全メカニズムです。装置のアースは、地域および国内の電気規定に適合させる必要があります。

静電破壊の防止

電子部品の取り扱いが不適切な場合、ESD が発生し、機器の損傷や電気回路の破損を引き起こす可能性があります。その結果、機器の断続的障害または完全な故障を引き起こします。

部品の取り外しまたは交換を行うときは、必ず静電気防止手順に従ってください。シャーシが電気的にアースに接続されていることを確認してください。静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。アースクリップをシャーシフレームの塗装されていない表面に止めて、静電気が安全にアースに流れるようにします。静電放電による損傷とショックを防止するには、リストストラップとコードを効果的に作用させる必要があります。リストストラップがない場合は、シャーシの金属部分に触れて、身体を接地してください。

安全を確保するために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は1～10 MΩである必要があります。

設置場所の環境

物理的仕様については、[ハードウェア仕様（13 ページ）](#)を参照してください。

機器故障を予防し、環境に起因するシャットダウンを防ぐため、注意して設置場所のレイアウトや機器の配置を検討してください。既存の装置で停止やエラーが頻繁に起きている場合にも、この考慮事項を参考にするにより、障害の原因を突き止め、今後問題が起きないように予防できます。

設置場所に関する考慮事項

以下の情報を考慮することで、シャーシに適した動作環境を確保し、環境による装置の故障を防ぐことができます。

- 電子機器は放熱します。空気の循環が不十分な場合、周辺の温度が上昇し、その結果、適切な動作温度まで装置を冷却できなくなることがあります。システムを使用する室内で十分に換気が行われるようにしてください。
- シャーシカバーが完全に取り付けられていることを確認してください。シャーシは内部を冷却用の空気が適切に流れるように設計されています。シャーシが開いていると、空気が漏れて、内蔵部品に冷却用の空気が行き渡らなくなったり、空気の流れが妨害されることがあります。
- 常に静電気防止手順に従い、機器の損傷を防いでください。静電放電による損傷によって、即時または断続的な機器障害が発生する可能性があります。

電源モジュールに関する考慮事項

シャーシを設置する際には、以下のことを考慮してください。

- シャーシを設置する前に、設置場所の電源を調べ、スパイクやノイズがないかどうかを確認してください。必要に応じて電源調整器を設置し、アプライアンス入力電圧にて適切な電圧および電力レベルを確保してください。
- 設置場所で適切にアースし、雷や電力サージによる損傷を防止してください。

- シャーシでは、ユーザが動作範囲を選択できません。シャーシの正確なアプライアンス入力所要電力については、そのラベルを参照してください。
- シャーシには複数の種類の AC 入力電源コードを使用できます。設置場所に適したタイプを使用してください。
- できるだけ、無停電電源装置を使用してください。

ラックの構成に関する考慮事項

シャーシのラックマウント手順については、[シャーシのラックマウント \(1 RU\) \(35 ページ\)](#) を参照してください。

ラックの構成を決めるときは、次のことを考慮してください。

- 標準規格の 48.3 cm (19 インチ) 4 支柱 EIA ラック (ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠したホール間隔に適合する取り付けレール付き)。
- スライドレールのラックマウントと連動させるには、ラックマウント支柱が 2 ~ 3.5 mm 厚である必要があります。
- 開放型ラックにシャーシをマウントする場合、ラックのフレームで吸気口や排気口をふさがないように注意してください。
- 閉鎖型ラックに十分な通気があることを確認してください。各シャーシで熱が発生するため、ラック内に装置を詰め込みすぎないように注意してください。冷気が回るように、閉鎖型ラックにはルーバーが付いた側面とファンが必要です。
- 閉鎖型ラックの上部に換気用ファンが付いている場合には、ラックの下段に設置した装置の熱が上昇し、上段の装置の吸気口から入り込む可能性があります。ラック下段の装置に対して、十分な換気が行われるようにしてください。
- バッフルは吸気から排気を分離するときに役立ちます。また、シャーシ内に冷気を取り込むためにも役立ちます。隔壁は、シャーシ内に冷気を行き渡らせるためにも有効です。隔壁の最適な取り付け位置は、ラック内の空気がどのように流れるかによって異なります。



第 3 章

シャーシの取り付け

- シャーシの開梱と確認 (31 ページ)
- シャーシのデスクトップマウント (32 ページ)
- シャーシの壁面取り付け (1 RU) (32 ページ)
- シャーシのラックマウント (1 RU) (35 ページ)

シャーシの開梱と確認



(注) シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマーサービス担当者に連絡してください。破損が原因でシャーシを返送する必要がある場合に備えて、輸送用の箱を保管しておいてください。

シャーシで標準装備になっている項目の一覧については、[パッケージの内容 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

手順

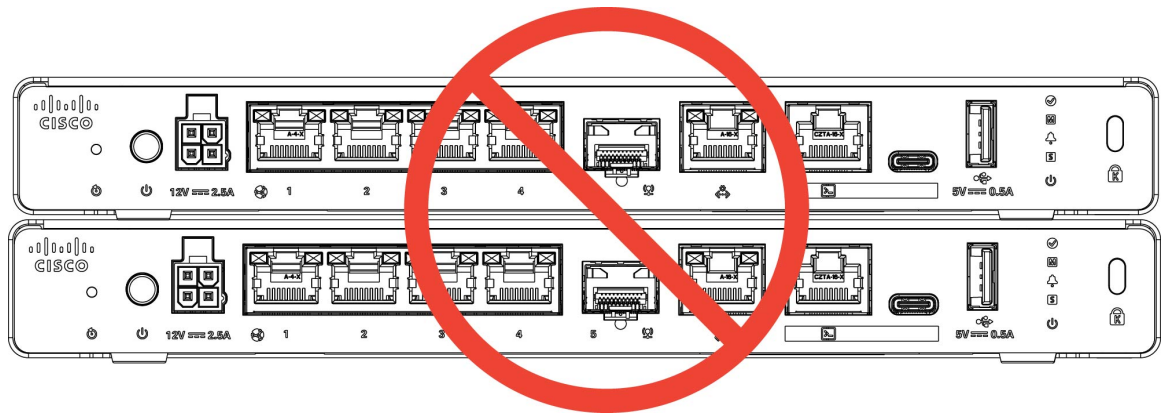
- ステップ 1** 段ボール箱からシャーシを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ 2** カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ 3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマーサービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
 - 発送元の請求書番号 (梱包明細を参照)
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - 破損状態の説明

- 破損による設置への影響

シャーシのデスクトップマウント

シャーシをデスク上に水平に置くことにより、デスクトップにマウントできます。シャーシの上方 1.3 cm (0.5 インチ) 以内、または両側面と背面から 5.1 cm (2 インチ) 以内に、冷却の妨げになる遮蔽物や障害物がないようにしてください。シャーシに付属のゴム脚を取り外さないでください。それらも、適切な冷却のために必要です。

図 26: シャーシのデスクトップマウント (積み重ね禁止)



注意 シャーシの上に別のシャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。

次の作業

[スタートアップガイド](#)に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。

シャーシの壁面取り付け (1 RU)

オプションの壁面取り付けキットを購入できます。シャーシは、パネルの左面、右面、または背面を上にして壁に取り付けることができます。壁面取り付けブラケットを使用して、壁面の取り付け穴の位置にマークをつけます。壁面取り付けブラケットは、22.672 X 16.512 X 0.96 cm (8.9 X 6.5 X 0.378 インチ) です。シャーシを取り付ける壁には 2 つの水平のマークをつける必要があります。垂直方向 (背面パネルが上) の場合、ホールの間隔は 14.160 cm (5.575 インチ) にする必要があります。水平方向の場合、ホールの間隔は 20.32 cm (8 インチ) にする必要があります。

壁面取り付けキット

壁面取り付けキットの構成目目は次のとおりです。

- 壁面取り付けブラケット
- M3 X 0.5 X 5.2 mm プラスネジ 3 本
- #6 X 1¼ インチプラスネジ 2 本
- #8 壁面用アンカーキット 1 個 (ネジ付き)

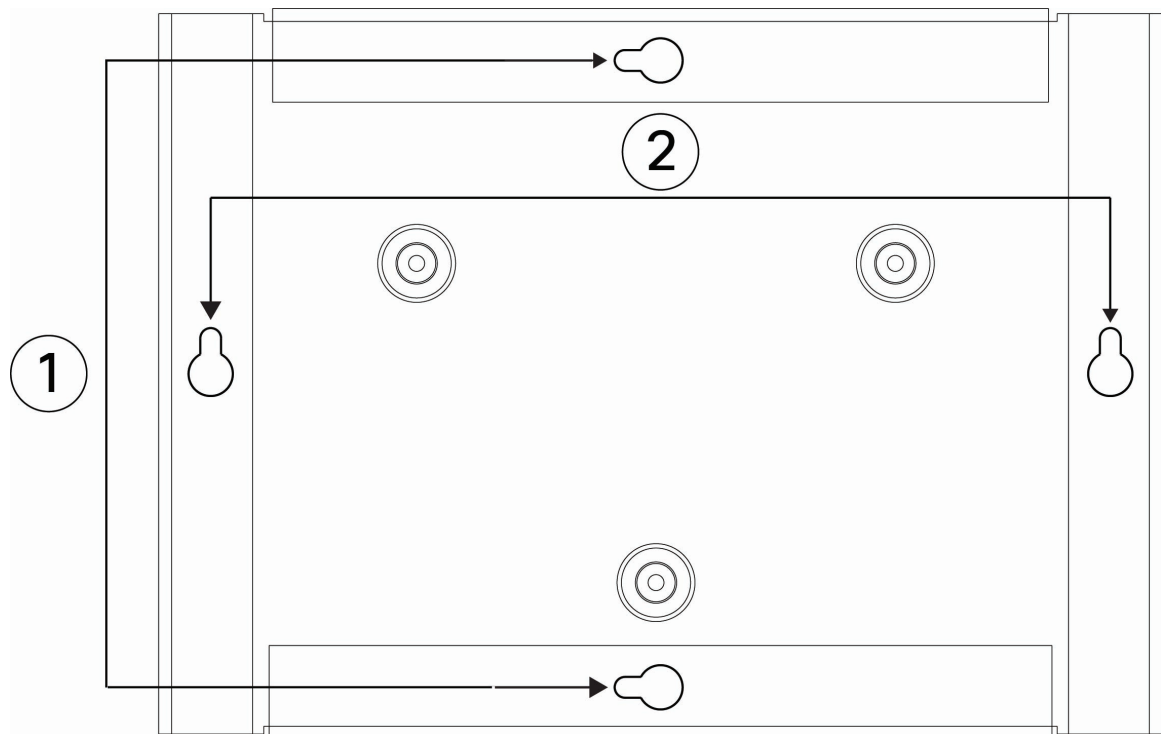
シャーシを壁に取り付けるには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 方向 (左側、右側、または背面パネル側を上) とシャーシの壁面上の位置を選択します。

ステップ 2 鉛筆、ルーラー、水準器を使用して、2本の取り付けネジの位置にマークをつけます (#6 X 1¼ インチ)。壁面取り付けブラケット自体を使用して、上部の穴または側面の穴のいずれかの位置にマークをつけることができます。

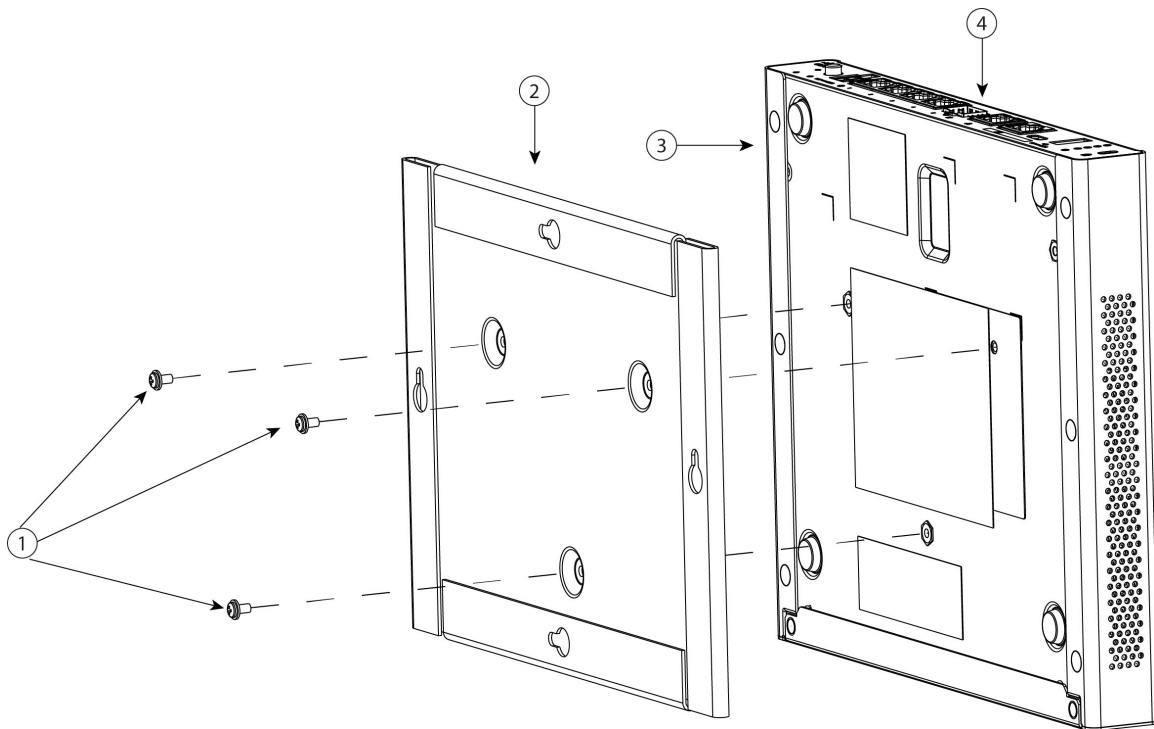
図 27: 壁面取り付けブラケット



1	水平方向の設置 20.32 cm (8 インチ) 間隔	2	垂直方向の設置 14.160 cm (5.575 インチ) 間隔
----------	--------------------------------	----------	-------------------------------------

ステップ3 M3 X 0.5 X 5.2 mm プラスネジ 3 本を使用して、壁面取り付けブラケットをシャーシに取り付けます。

図 28: シャーシへの壁面取り付けブラケットの取り付け



1	M3 X 0.5 X 5.2 mm プラスネジ 3 本	2	壁面取り付けブラケット
3	シャーシ底面	4	背面パネル (I/O 側)

ステップ4 #6 X 1¼ インチネジ 2 本を使用してスタッドにドリルで穴をあけるか、壁面アンカーキットのアンカー (#8 壁面用ネジ) を使用して、乾式壁に取り付けます。

木材やシートメタルなど、乾式壁以外にシャーシを取り付ける場合は、アンカーが不要なことがあります。

ステップ5 ステップ2 でつけた壁の各マークの位置にドリルで穴をあけます。

これらの穴は、使用しているアンカーの直径よりわずかに小さくする必要があります。推奨されるドリル穴のサイズは 3/16 インチです。

ステップ6 必要に応じてアンカーを穴に挿入し、しっかり固定されていることを確認します。

ステップ7 各ネジをアンカーに締め込み、突き出しが約 1/4 インチになるまで回します。

ステップ8 シャーシを持ち上げ、アンカーのネジ位置に壁面取り付けブラケットの底の穴を合わせてシャーシを壁側に移動し、ネジの頭が壁面取り付けブラケット内に入ったならシャーシを下にスライドしてネジに乗せます。

注意

背面パネルを下向きにしてシャーシを取り付けないでください。この方向はサポートされていません。

ステップ 9 壁面取り付け器具からシャーシを取り外すには、壁面に取り付けられたシャーシを壁面からスライドさせて、シャーシの下部から 3 本のネジを外します。

次のタスク

[スタートアップガイド](#)に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。

シャーシのラックマウント (1 RU)

ラックマウントシェルフを使用すると、19 インチ EIA ラックの 1-RU スペースにシャーシをマウントできます。ラックマウントシェルフのサイズは、4.37 X 48.18 X 40.87 cm (高さ X 幅 X 奥行) (1.72 X 18.97 X 16.09 インチ) です。スライドレールラックにシャーシをマウントすることもできます。固定ブラケット付きラックマウントキットかスライドレール付きラックマウントキットを発注します。ケーブル管理ブラケットキットはオプションです。

固定ブラケット付きラックマウントキット

固定ブラケット付きラックマウントキット (CSF200-RCKMNT-FX=) には、次の品目が含まれています。ラックマウントシェルフをラックの中に設置するために、ラックマウントネジが 2 本必要です。

- ラックマウントシェルフ
- 2 支柱ラックマウントブラケット X 2 個
- 2-RU マウント用の T ブラケット X 2 個



(注) これらの T ブラケットは、ラックマウントシェルフの垂直方向の間隔を確保するために使用され、ラックマウントの垂直方向のクリアランスが十分でない場合の過熱を防ぎます。これらは 2-RU ラック用に確保されており、現時点では使用しません。

- 6-32 X 0.31 インチプラスネジ X 16 本。これらのネジを使用して、ブラケットをラックマウントシェルフに固定します。



(注) 1RU ラックの場合は 12 本のネジを使用します。他の 4 本は 2-RU ラック用に確保されており、現時点では使用しません。

- M3 X 0.5 X 5 mm プラスネジ X 3 本。これらのネジを使用して、ラックマウントシェルフをシャーシに固定します。

スライドレール付きラックマウントキット

スライドレール付きラックマウントキット (CSF200-RCKMNT-SR=) には、次の品目が含まれています。ラックマウントシェルフをラックの中に設置するために、ラックマウントネジが2本必要です。

- ラックマウント シェルフ
- 2-RU マウント用の T ブラケット X 2 個



(注) これらの T ブラケットは、ラックマウントシェルフの垂直方向の間隔を確保するために使用され、ラックマウントの垂直方向のクリアランスが十分でない場合の過熱を防ぎます。これらは 2-RU ラック用に確保されており、現時点では使用しません。

- 6-32 X 0.31 インチプラスネジ X 4 本。これらのネジを使用して、ラックマウントブラケットをラックマウントシェルフに固定します。



(注) これらのネジは 2-RU ブラケット用に確保されており、現時点では使用しません。

- M3 X 0.5 X 5 mm プラスネジ X 3 本。これらのネジを使用して、ラックマウントシェルフをシャーシに固定します。

ケーブル管理ブラケットキット

ケーブル管理ブラケットキット (CSF200-CBL-MGMT=) には、次の品目が含まれていません。

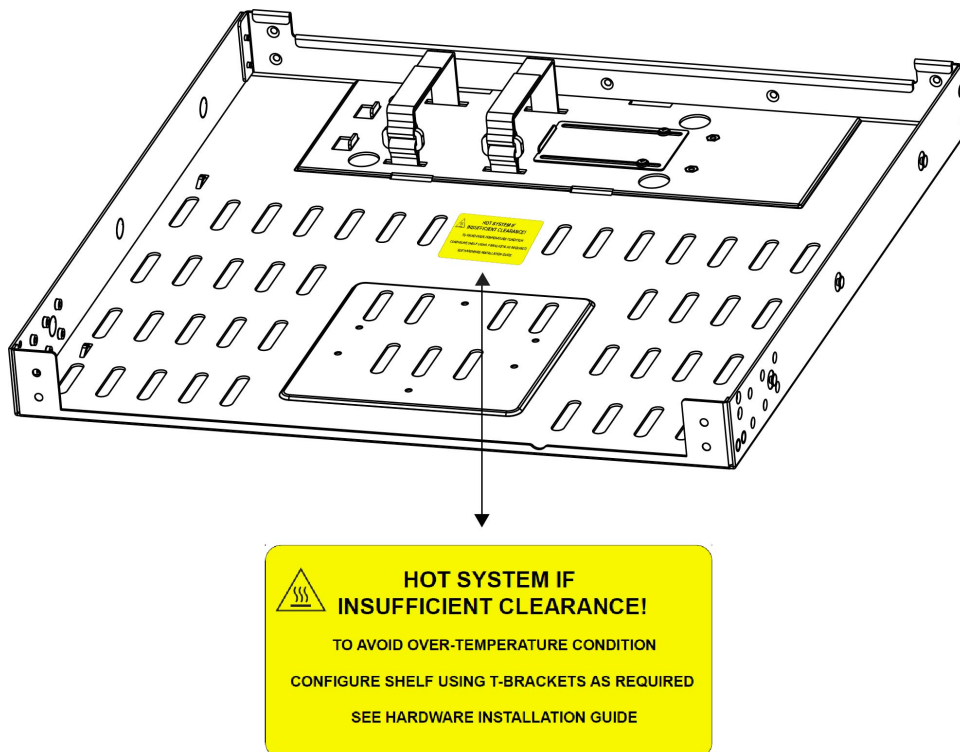
- ケーブル管理ブラケット
- 8-32 X 0.375 インチプラスネジ X 4 本。これらのネジを使用して、ブラケットをラックマウントシェルフに固定します。



(注) ラック構成の詳細については、「[ラックの構成に関する考慮事項 \(29 ページ\)](#)」を参照してください。

ラックマウントシェルフには過熱警告ラベルが添付されています。このラベルは CSF-220 には適用されませんが、2-RU ラックマウントシェルフを使用する Secure Firewall 200 シリーズの将来のモデルに適用されます。ラックマウントシェルフキットに含まれている T ブラケットは、ラックマウントシェルフの垂直方向の間隔を確保するために使用され、製品の垂直方向のクリアランスが不十分なために発生する温度の問題を防ぎます。CSF-220 では T ブラケットの取り付けは必要ありませんが、将来のモデルでは必要になる可能性があります。

図 29: 2-RU ラックマウントシェルフ用ラックマウントシェルフ過熱警告ラベル

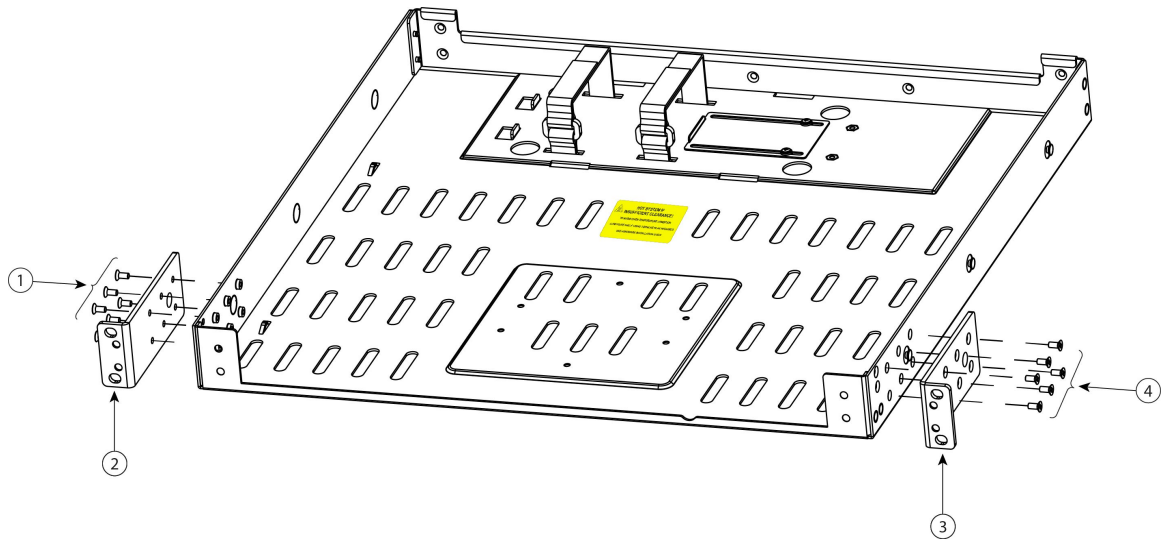


手順

ステップ 1 2 支柱ラック内のラックマウントシェルフにシャーシをマウントするには、以下の手順を実行します。

- a) ラックマウントシェルフに 2 支柱ラックマウントブラケットを取り付けます。

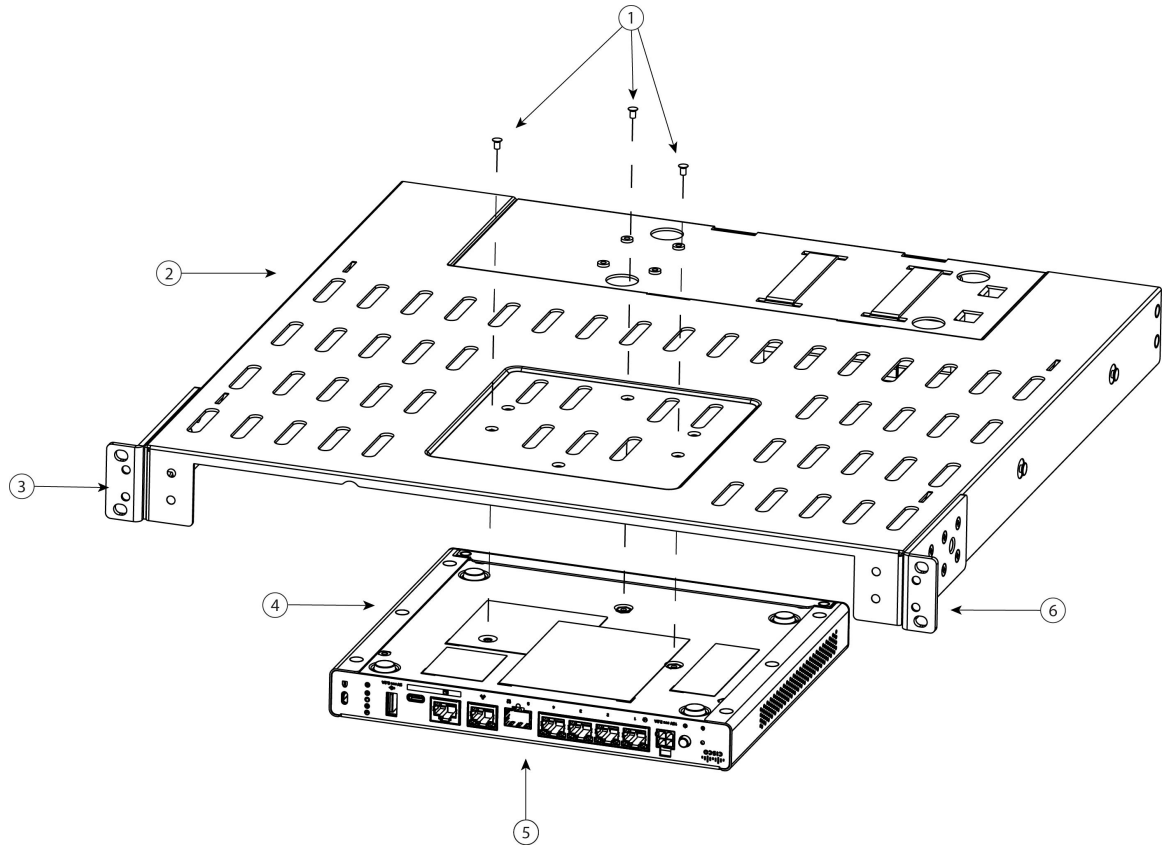
図 30: ラックマウントシェルフへの 2 支柱ラックマウントブラケットの取り付け



1	ラックマウント棚受け金具ネジ (6-32 X 0.31 インチプラスネジ)	2	ラックマウントブラケット
3	ラックマウントブラケット	4	ラックマウント棚受け金具ネジ (6-32 X 0.31 インチプラスネジ)

b) シャーシをラックマウントシェルフに取り付けます。

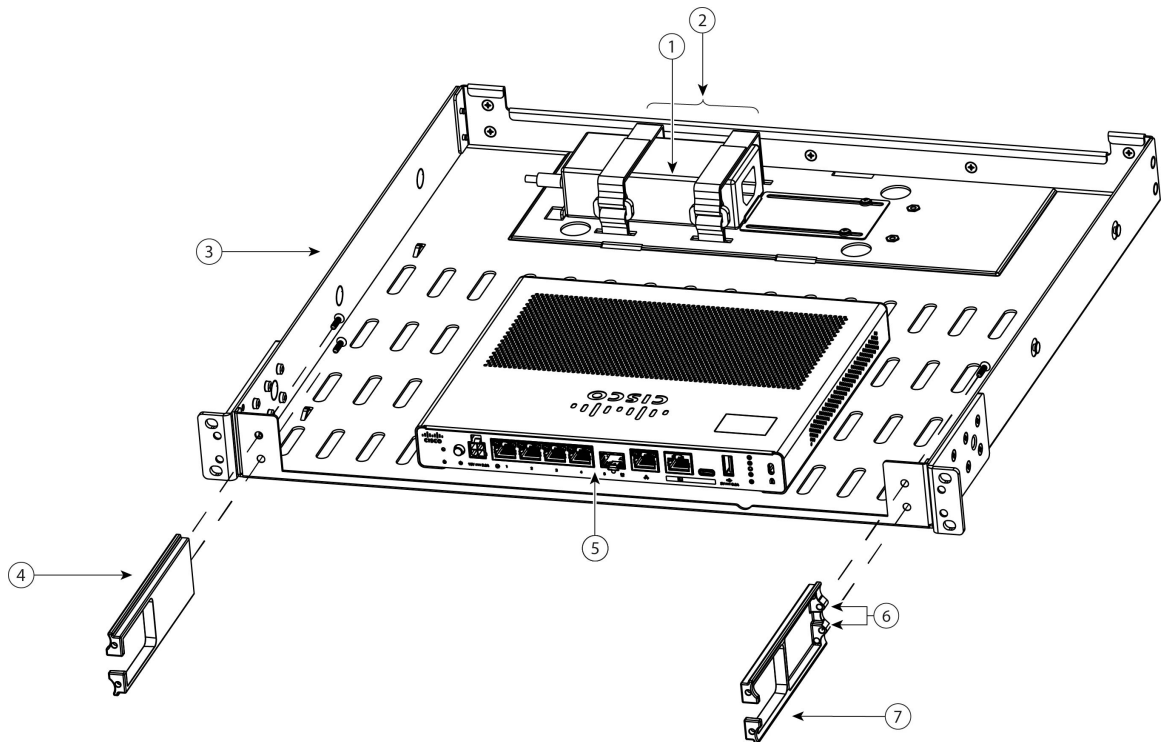
図 31: ラックマウントシェルフへのシャーシの取り付け



1	ラックマウントシェルフネジ (M3 X 0.5 X 5 mm プラスネジ X 3 本)	2	ラックマウントシェルフ
3	取り付け済みのラックマウント棚受け金具	4	上向きのシャーシ底面
5	背面パネル (I/O 側)	6	取り付け済みのラックマウント棚受け金具

- c) (オプション) ラックマウントシェルフにケーブル管理ブラケットを取り付け、マジックテープストラップを使用してラックマウントシェルフの背面に電源モジュールを固定します。

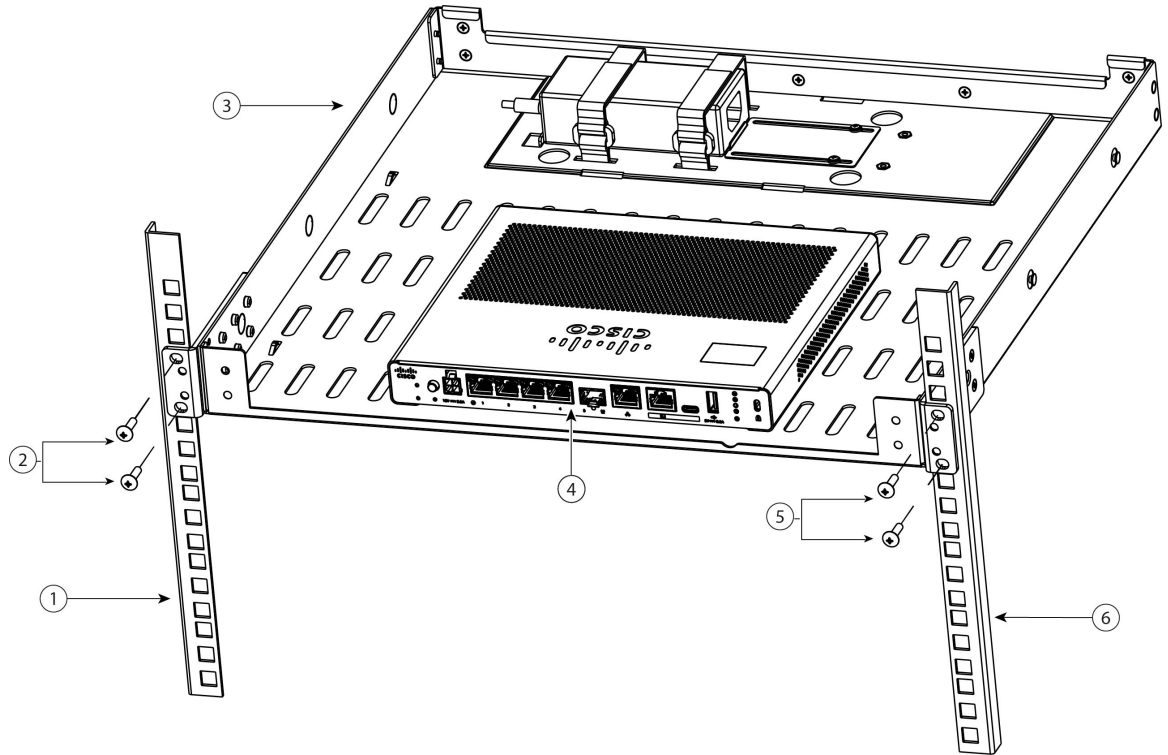
図 32: ラックマウントシェルフへのケーブル管理ブラケットの取り付け



1	電源モジュール	2	電源モジュール固定用のマジックテープストラップ
3	ラックマウントシェルフ	4	ケーブル管理ブラケット
5	シャーシの背面パネル (I/O 側)	6	ケーブル管理ブラケットネジ (8-32 X 0.375 インチプラスネジ X 2 本) (注) 左側のケーブルブラケットの角度のため、右側のケーブル管理ブラケットのネジのみが表示されています。左側のブラケットにも 2 本のネジが隠れています。
7	ケーブル管理ブラケット		—

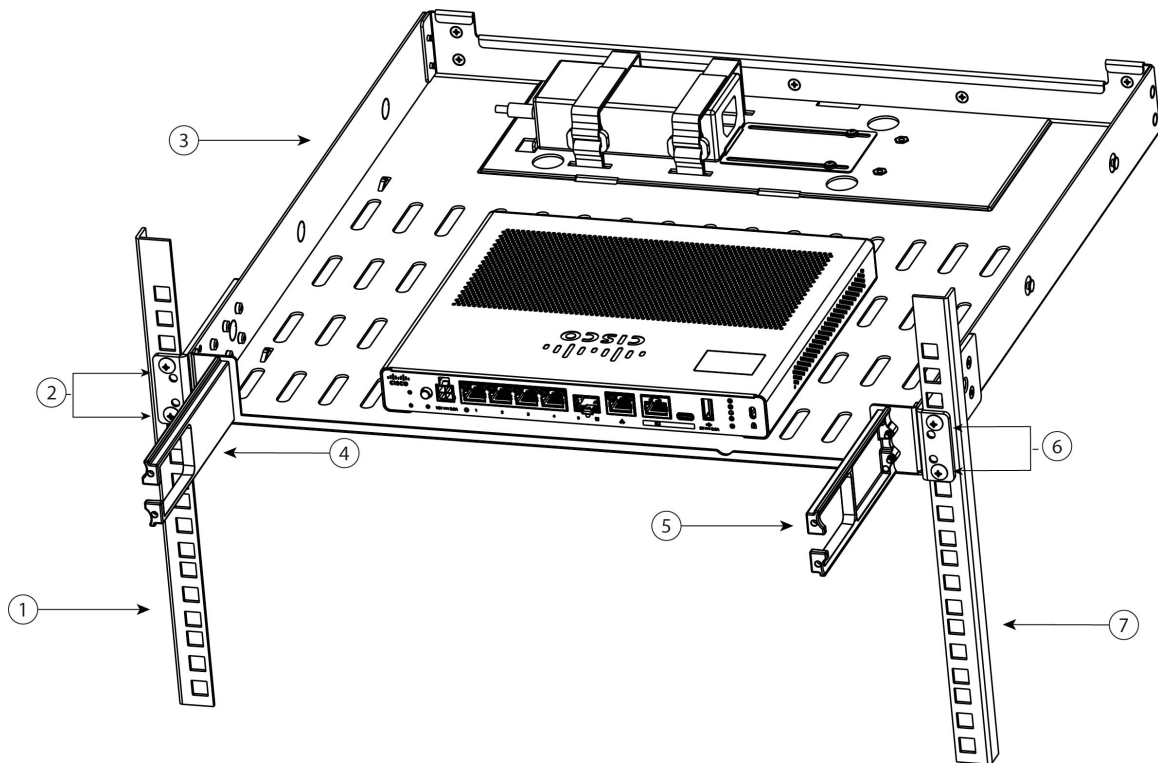
- d) ラックマウントシェルフを 2 支柱ラックに取り付けます。最初の図は、ケーブル管理ブラケットが取り付けられていない 2 支柱ラックへのラックマウントシェルフの取り付けを示しています。2 番目の図は、ケーブル管理ブラケットが取り付けられた 2 支柱ラックへのラックマウントシェルフの取り付けを示しています。

図 33: 2支柱ラックへのラックマウントシェルフの取り付け (ケーブル管理ブラケットなし)



1	2 支柱ラック	2	ラックネジ X 2 本 (ラックに合うネジをご用意ください)
3	ラックマウント シェルフ	4	シャーシの背面パネル (I/O 側) 電源モジュール固定用のマジックテープストラップ
5	ラックネジ X 2 本 (ラックに合うネジをご用意ください)	6	2 支柱ラック

図 34: 2支柱ラックへのラックマウントシェルフの取り付け (ケーブル管理ブラケット付き)

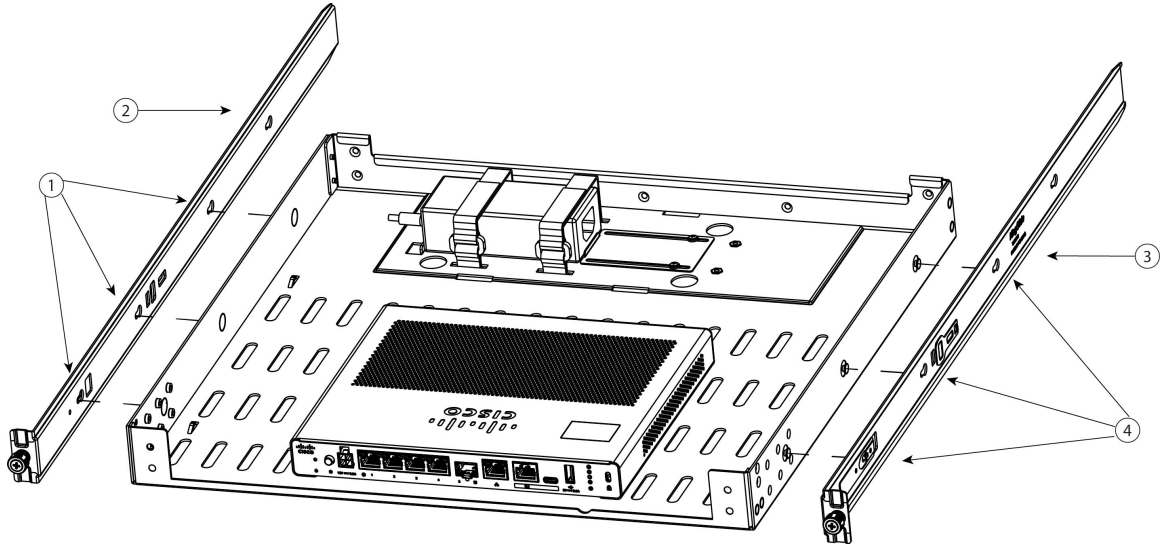


1	2 支柱ラック	2	取り付け済みのラックネジ X 2 本 (ラックに合うネジをご用意ください)
3	ラックマウントシェルフ	4	ケーブル管理ブラケット
5	ケーブル管理ブラケット	6	取り付け済みのラックネジ X 2 本 (ラックに合うネジをご用意ください)
7	シャーシの背面パネル (I/O 側)		—

ステップ 2 スライドレールを使用してシャーシをラックマウントシェルフに設置するには、以下の手順を実行します。

- a) スライドレールの外側のレールから内側のレールを取り外します。
- b) 外側のスライドレールを 4 支柱ラックに取り付けます。スライドレールの端のペグをラックのホールに合わせます。外側スライドレールの両端にあるメカニズムを見つけて、ペグをラックに固定します。
- c) ラックマウントシェルフに 2 つの内側スライドレールを取り付けます。内側スライドレールのそれぞれのホールをシャーシのペグに合わせて、内側スライドレールを所定の位置にスナップします。

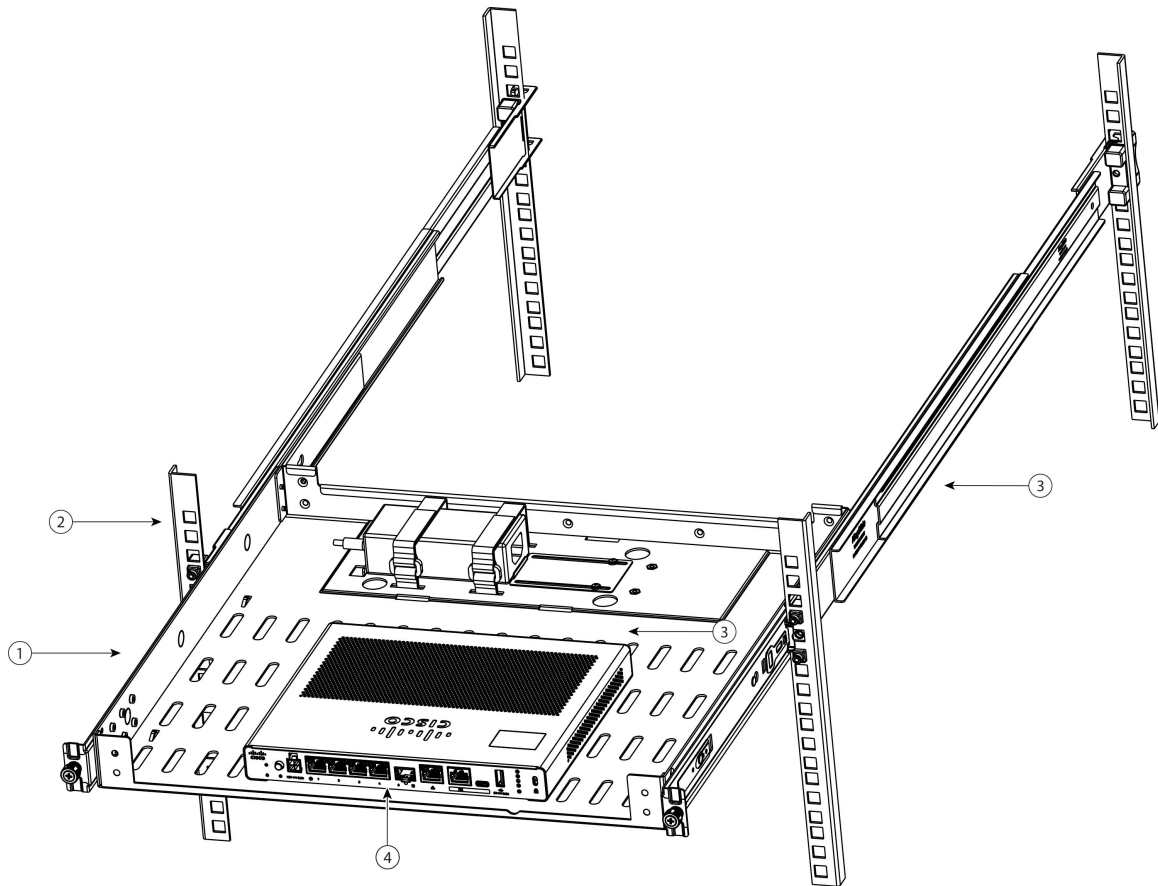
図 35: ラックマウントシェルフへのスライドレールの取り付け



1	スライドレール上の3つのホール。これらのホールとシャーシ側面のペグの位置を合わせます。	2	スライドレール
3	スライドレール	4	スライドレール上の3つのホール。これらのホールとシャーシ側面のペグの位置を合わせます。

d) シャーシが入っているラックマウントシェルフをスライディングラックの中にスライドさせます。

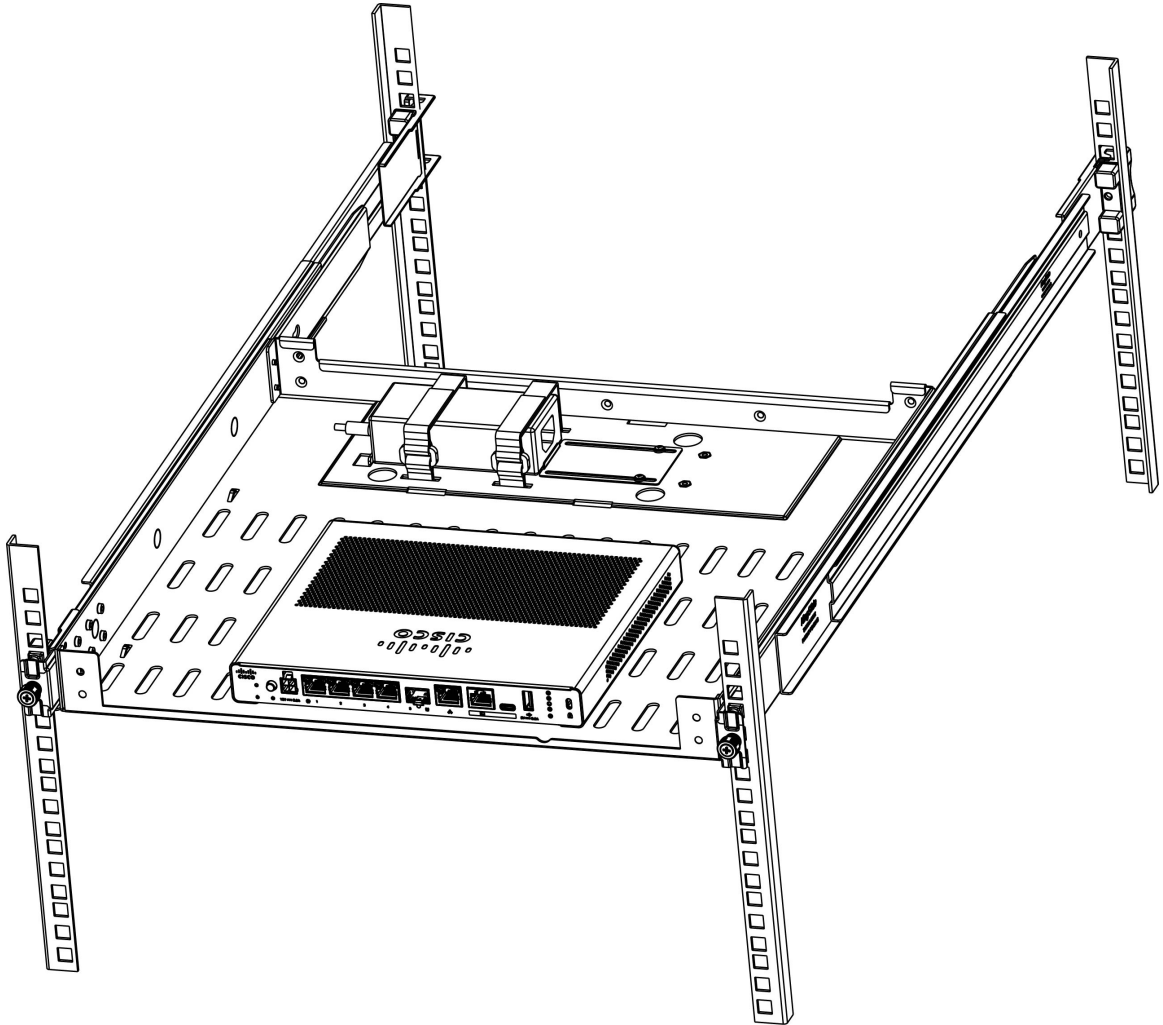
図 36: ラックマウントシェルフをスライドさせてラックに挿入



1	ラックマウントシェルフ	2	スライドレールラック
3	取り付け済みのスライドレール	4	シャーシの背面パネル (I/O 側)

ステップ 3 これで、ラックマウントシェルフへのシャーシの取り付けと、スライディングラックへのラックマウントシェルフの取り付けが完了しました。

図 37: スライディングラックに取り付けられたラックマウントシェルフ



次のタスク

[スタートアップガイド](#)に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。